

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】 令和 6 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	契約検査課担当課長 村松 康之	
総務-25	庁用器具管理事務	☒ 自治事務	主管課	契約検査課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	0-(2) 行財政運営		施策の方針
				0-(2) 行財政運営

1 事業の目的

対象	庁用共通物品
意図	庁用共通物品の管理を行うため。
効果	庁用共通物品の購入、管理等を行い、円滑な行政事務執行に資する。

2 令和5年(2023年)度を実施した事業の概要

・庁用共通物品の購入、管理及び修繕並びに廃棄物品の処理業務を行った。	
・令和3年度(2021年度)から実施している庁内各課分の文具の一元管理を行った。	

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	庁用共通物品管理事務	庁用共通物品購入消耗品費、廃棄委託料等	—	—	/	—	
				7453	/	7507	
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	200	/	200	
			一般財源	7253	/	7307	
		事業費の合計(千円)		7,453	/	7,507	7,543
		人件費(千円)				9,036	9,433

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.8	1.8	1.0	1.0	1.0	
会計年度任用職員	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	庁用共通物品管理事務	文具一元管理による予算が主なため、指標設定にはなじまない。	上位施策の貢献度を計ることはなじまない。	—

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		3 外部化ができる事業はない	
	関連・類似する事業の統合はできないか		1 統合済み	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		4 市民ニーズを計ることはなじまない	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		3 民間によるサービスで代替できる事業はない	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2 市民等と協働して実施する事業はない	
			協働実施済の場合のパートナー	

(3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】

☐ 拡充

☐ 改善・変更

☒ 現状維持

☐ 縮小

☐ 休止・廃止

引き続き、円滑な行政事務執行に必要な庁用共通物品の購入・管理を行う。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う
他市比較に関する考え方